

2 基本目標

県民が暮らしを立て、仕事をして、子どもを育てる大切な古里として、誰もが心豊かに安心して暮らし、活力があり仕事が成り立って、将来とも発展可能性豊かな大分県をつくっていくことが大事です。

県民とともに築く「安心」「活力」「発展」の大分県

- 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県
- いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県
- 人を育み基盤を整え発展する大分県

他方、少子高齢化が進み、全国的かつ本格的な人口減少社会を迎える中、国・地方にとっても地方創生が大きな課題となっています。この地方創生は、地方に人をつくり人を育て、仕事をつくり仕事を呼び、人と仕事の好循環で地域を活性化しようとするものであり、本県がこれまで取り組んできた「安心・活力・発展」の大分県づくりと軌を一にするものです。

これまでの成果に新たな政策を積み上げながら、「安心・活力・発展」の大分県づくりを進め、併せて地方創生に取り組むこととします。

その際、次の4つの視点で進めていきます。

(地方創生の視点)

- 1 人を大事にし、人を育てる
- 2 仕事をつくり、仕事を呼ぶ
- 3 地域を守り、地域を活性化する
- 4 基盤を整え、発展を支える

こうした基本目標の実現にあたり、大分県の未来を担い、その中心となるのは、大分県に暮らす一人ひとりの県民であることから、以下の3点を基本姿勢として臨みます。

(基本姿勢)

- ◇県民が主役
- ◇県民の多様な価値観の尊重
- ◇県民の発想と活動の支援

県民中心に物事を判断し、多様な価値観の時代にあって、柔軟な発想をもって政策を遂行していくことが大事であり、もとより既存の組織にとらわれることなく、縦横の連携と効率性を図っていきます。